

○下北森林管理署の「青森ヒバ・広葉樹の採材検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和5年9月15日（金）に青森県むつ市大畑町の赤滝山国有林で開催された「令和5年度 青森ヒバ・広葉樹の採材検討会」に、青森事務所から1名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や県担当者、署管内の林業事業体など総勢29名の参加を得て開催され、今回の採材検討会ではヒバと広葉樹の採材について検討を行いました。下北森林管理署長の挨拶後、青森事務所から東北局での素材生産・販売の取組について説明、署の担当者から事業概要、生産事業地におけるヒバ及び広葉樹の取扱いや販売結果等について説明があり、その後、実際の採材の検討に移りました。

試供木となる2本のヒバと2本の広葉樹（ホオノキ）を参加者全員で採材方法を考え、ヒバについては実際にチェーンソーで玉切り、造材した後に節の大きさや腐れなど欠点に関し一般材として許容される限度など意見交換が行われました。また、広葉樹については、青森県森林組合連合会の担当者から採材に際し留意すべき欠点や造材時の材長などに関する説明をいただいたところです。

最後に青森事務所から、ヒバ大径木は4mの定尺にこだわらず出来るだけ長く採材して最大限生産量を確保していただくとともに、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕分けの徹底、また、労働災害の防止に努めるよう安全についての講評をさせていただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（ヒバの採材検討）



（広葉樹の採材検討）